



練馬区議会議員

藤井たかし



議会運営委員会 委員長

特別委員会 交通対策等特別委員会 委員

各種委員会 都市計画審議会 委員
土地開発公社評議員会 委員

常任委員会 企画総務委員会 委員

ご相談は… 藤井たかし 事務所
〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20
Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330

令和3年 第一回 練馬区議会定例会

一般質問(要旨)

練馬区議会 自民党 藤井たかし

区長の基本的な考えについて

質問1 民主主義の在り方と今の大きな変化をどのように受け止めているか。

答弁 我々人類には民主主義を守り、育てていくしか歴史の選択肢は無い。そう確信している。

区のかたちについて(予算、財政、少子化)

質問1 不透明さが増す環境の下での予算編成の留意と意欲は。

答弁 区民の生命・健康、安全・安心を守る事は、基礎的自治体である区の最大の責務。区民生活を支えるうえで必要な施策は、最優先で実行しなければならない。

質問2 区有施設の課題についての現状の検討状況と不動産の有効活用は。

答弁 長期的な視点に立つて施設の有効活用を検討していくことが必要。周辺の



施設との統合、再編の可能性を含めて検討し、庁舎改築等の計画を定める。谷原清掃事務所については、清掃事業全体のあり方とあわせて効果的な活用を検討を進めていく。

教育について

質問1 教育委員会の35人学級についての評価は。

答弁 一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導や、学習活動・機会の充実。

質問2 令和7年までの間、教室の確保の対応は。

答弁 教室の利用方法の見直し等により、普通教室を確保していく。

質問3 教員の増員について、国や都への働きかけは。

答弁 教員配置を行う都に對して、着実に教員を確保するよう働きかけるとともに、研修の充実等を通じて、教員の質の確保に取り組んでいく。

新型コロナウイルス対策について

質問1 現在の状況について区の分析は。また、保健所の現在の状況は。

答弁 年末年始の帰省や会食での感染、家庭内での二次感染等が考えられる。保健所の業務量も急増したことから、先月更に増員した。

質問2 今後、区として、生活困窮者対策拡充への具体的な内容は。

答弁 生活困窮者生活保護に至るまで、切れ目のない就業支援を実施し、早期生活再建につなげていく。

質問3 感染症の広がりの中で健闘している接客業の方々の応援と感謝の意は。

答弁 ねりま区報臨時号において、献身されているすべての方々に、心から敬意を表し、深く感謝を申し上げた。

質問4 インフルエンザの罹患患者数は。また、手足口病やヘルパンギーナの減少は。

答弁 今シーズンのインフルエンザの流行は全国的に見られず、区においてもほとんど報告されていない。例年流行する手足口病やヘルパンギーナなどの病気の流行も見られず、区民の感染予防策が効を奏していると考ええる。

質問5 ワクチン接種に対する区長の思いは。

答弁 コロナ禍の克服に向けて、練馬区が先頭を切って「早くて近くて安心」な接種の実現を目指していく。



災害対策について

質問1 地域に潜む災害リスクに関する多く冊子への周知の取り組みを。所見は。

答弁 様々な防災の冊子を紹介し、一人ひとりに合った対策を進めて頂けるよう取り組んでいく。

介護保険制度について

質問1 第八期介護保険事業計画の素案で、給付費の推計をどのように行い、保険料の上昇抑制をどのように図ったのか。特に介護保険給付準備基金の活用をどのように行っているのか。所見は。

答弁 負担能力に応じて保険料を負担していただくことを基本として保険料率を設定。

質問2 介護予防について、実効性のある体制を整え、今後の介護保険制度の安定的な運営を。所見は。

答弁 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域包括ケアシステムを確立するとともに、健康づくり、介護予防の強化、自立支援・重度化の推進、介護給付の適正化に取り組み、制度の持続可能性を維持していく。



どんなご相談でも… 藤井たかし事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20
Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330